

親鸞聖人の御命日の法要

報 恩 講

報恩講に寄せて

年に一度の報恩講は、親鸞聖人のお言葉に私自身が、どれくらい応えて生きてきたか、そのことを報告する場だ、と私は考えています。

22年前、初めて親鸞聖人のお言葉を伝えてくれる人々に出会った時の驚きを、今も忘れられません。今までとは違う、もうひとつの世界が開かれていくような気がしました。誰でもない私。誰とも比べようもない私自身。広々とした世界への扉の前に立ったような気がしました。

しかし、現実の社会は止むことの無い殺戮の繰返し。それから自然災害の猛威。「原発」と今を生きる私たちに、様々な課題を突き付けています。

親鸞聖人が今を生きていたなら、何と言うのでしょうか。私は、困難に直面した時思うのです。親鸞聖人ならどうするだろうか。2011年、安順寺報恩講。未来のためにこそ、共に集える場を、うれしく思います。

(兪漢子先生からのメッセージ)

- 期 日 12月5日(月)
- 時 間 午前 … 10時～12時 (おときは準備します)
午後 … 1時30分～3時30分
- 講 師 兪 漢子 師 (沖縄県読谷村在住・大谷派僧侶)

講師プロフィール

兪 漢子 先生
(ユ ヨンジャ)

1949年広島に生まれる

韓国国籍在日朝鮮人二世

1988年兵庫県市川親鸞塾に出会う

2000年大谷大学にて2年間修学・新潟県安専寺衆徒

2004年沖縄県読谷村に移住

著書『無窮花 白き色白き光に』(御茶ノ水書房) 他



真宗大谷派

安 順 寺

名古屋市昭和区鶴舞4-15-20
052-731-8785